

5 赤潮の発生状況

表 5-5 赤潮による主な漁業被害一覧（昭和 47 年～平成 29 年）

年	発生海域	プランクトン	被害内容		被害金額
昭47	播磨灘	シャットネラ	養殖ハマチ	約 1,400万尾へい死	71 億円
52	播磨灘	シャットネラ	養殖ハマチ	約 330万尾へい死	30 億円
53	播磨灘	シャットネラ	養殖ハマチ	約 280万尾へい死	33 億円
54	播磨灘	シャットネラ	養殖ハマチ	約 99万尾へい死	11 億円
			養殖ハマチなど	約 71万尾へい死	
55	豊後水道	ギウノディニウム	養殖ハマチなど	約 53万尾へい死	4 億円
56	豊後水道	ギウノディニウム	養殖ハマチなど	約 7万尾へい死	1 億円
57	播磨灘 燧灘	シャットネラ	養殖ハマチ	約 29万尾へい死	11 億円
			ギウノディニウム	養殖マダイなど	
58	紀伊水道	シャットネラ	養殖ハマチ	約 29万尾へい死	4 億円
60	周防灘 伊予灘	ギウノディニウム	養殖ハマチ 天然魚介類	約 5,600トンへい死	10 億円
61	豊後水道	ギウノディニウム	養殖ハマチなど	約 130トンへい死	4 億円
62	播磨灘等	シャットネラ	養殖ハマチ	約 135万尾へい死	25 億円
平成	豊後水道	シャットネラ	養殖ハマチなど	約 16万尾へい死	5 億円
3	安芸灘	ギウノディニウム	養殖マダイなど	約 176万尾へい死	15 億円
5	豊後水道	ゴニオラックス	養殖ブリなど	約 3万尾へい死	1 億円
6	豊後水道	ゴニオラックス	養殖マダイなど	約 132万尾へい死	8 億円
7	播磨灘 安芸灘	ギウノディニウム	養殖マダイなど	約 60万尾へい死	10 億円
			ヘテロカプサ	養殖マガキ稚貝など	
8	安芸灘	ギウノディニウム	養殖ハマチなど	約 3万尾へい死	1 億円
9	安芸灘	ヘテロカプサ	養殖マガキ	約 494万枚へい死	3 億円
10	安芸灘	ヘテロカプサ	養殖マガキなど	約 8,518万枚へい死	39 億円
13	豊後水道	ギウノディニウム	養殖ブリ	約 5万尾へい死	2 億円
			養殖アワビ	約 3万個へい死	
			養殖魚介類	739キロへい死	
14	安芸灘	ギウノディニウム	養殖ハマチなど	約 27万尾へい死	1 億円
15	播磨灘 播磨灘	シャットネラ	養殖ハマチ	約 29万尾へい死	7 億円
			養殖ハマチなど	約 26万尾へい死	
16	大阪湾 播磨灘 豊後水道 安芸灘	コシノディスカス ユウカンピア コクロディニウム シャットネラ	養殖ノリ 注3)	色落ち	58 億円
			養殖マダイなど	約 31万尾へい死	2 億円
			養殖ハマチなど	約 5万尾へい死	2 億円
17	豊後水道	ギウノディニウム	養殖トラフグ	約 11万尾へい死	3 億円
			養殖ヒラメ	約 10万尾へい死	
			養殖ブリなど	約 20万尾へい死	
18	豊後水道	コクロディニウム カレニア	養殖ヒラメ	約 2万尾へい死	2 億円
			養殖ヒラマサ	約 3万尾へい死	
			養殖マダイ等	約 2万尾へい死	
19	豊後水道	カレニア	養殖ハマチ	約 18万尾へい死	4 億円
			養殖カンパチ等	約 11万尾へい死	
			養殖ヒラメ	約 6万尾へい死	
24	豊後水道	カレニア	養殖カンパチ、マダイ等	約 169万枚へい死	15 億円
			養殖アワビ	約 9万尾へい死	
			天然アワビ、サザエ等	58トンへい死	
25	豊後水道	コクロディニウム コクロディニウム	養殖カンパチ	約 6万尾へい死	2 億円
			養殖シマアジ 養殖カンパチ	約 8千尾へい死 約 2万尾へい死	
26	豊後水道	カレニア	養殖ブリ、カンパチ、 ヒラメ等	約 14万尾へい死	1 億円
27	豊後水道	カレニア	養殖マダイ、カンパチ	約 29万尾へい死	4 億円
			アコヤ貝等	約 70万尾へい死	

注) 1. 湾・灘の区分は「瀬戸内海の赤潮」に準ずる。

2. 被害金額が年間1億円以上の年を掲載し、被害内容等は代表的なものとした。

3. 平成16年の養殖ノリの色落ち被害は、色落ちのなかった5年間生産枚数、生産金額を基準に16年の漁期における共販実績から算定されたものである。

出典：「瀬戸内海の赤潮」（水産庁瀬戸内海漁業調整事務所）